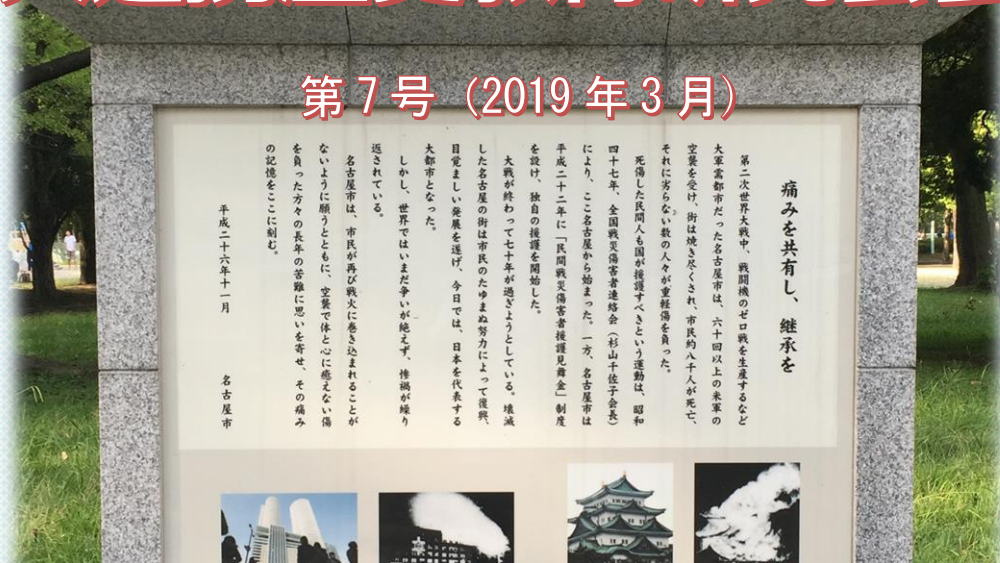


高大連携歴史教育研究会会報

第7号 (2019年3月)



痛みを共有し、継承を

第二次世界大戦中、戦闘機のゼロ戦を生産するなど大軍需都市だった名古屋は、六十以上の米軍の空襲を受け、街は焼き尽くされ、市民約八千人が死亡、それに劣らない数の人々が重傷を負った。死傷した民間人も園が接収すべきという運動は昭和四十七年、全国戦災被害者連絡会（彩山千枝子会長）により、ここ名古屋から始まった。一方、名古屋は平成二十二年に「民間戦災被害者接収見舞金」制度を設け、独自の接収を開始した。大戦が終わって七十年が過ぎようとしている。壊滅した名古屋の街は市民のたゆまぬ努力によって復興、目覚ましい発展を遂げ、今日では、日本を代表する大都市となった。しかし、世界ではいまだ争いが絶えず、惨禍が繰り返されている。名古屋は、市民が再び戦火に巻き込まれることがないように願うとともに、空襲で体と心に癒えない傷を負った方々の長年の苦難に思いを寄せ、その痛みを記憶せよここに刻む。

平成二十六年十一月

名古屋



《第4回大会記録》

(2018年7月28~29日 愛知工業大学附属高等学校)

●シンポジウム1「思考力育成型歴史教育への転換—新指導要領と入試改革」

趣旨説明.....磯谷 正行 1
 新指導要領をどう読み解き、どう具体的に考えるか
君島 和彦・吉嶺 茂樹・西村 嘉高 3
 思考力を育成する世界史授業と考査問題の在り方に関する一考察.....野々山 新 46
 文部科学省入試改革委託事業・歴史分科会の議論と試み.....都丸 潤子 67
 [第4回大会参考資料「新学習指導要領を踏まえた授業改善の視点」.....赤間 幸人] 77

●シンポジウム2A「第二次世界大戦をどう教えるか—世界史と日本史の統合の一事例として」

趣旨説明.....油井 大三郎 116
 なぜ日本はドイツと同盟を結ぶことになったのか？
 —当事者の世界認識のあり方を高校生と考える.....西牟田 哲哉 118
 大東亜共栄圏と日米開戦.....河西 晃祐 127
 アメリカはいつ開戦すべきか.....船浪 聡子 146
 コメント.....成田 龍一 161
 コメント.....原田 智仁 164
 総合討論.....165

●シンポジウム2B「歴史的思考力と用語精選・教科書の刷新」

趣旨説明.....桃木 至朗 173
 中高接続と高校歴史用語・概念.....中村 薫・桃木 至朗・児玉 祥一 174
 思考力育成型の新しい教科書モデル.....小島 孝太・林 裕文・荒井 雅子 190
 両報告へのコメント（積極的意義と課題について）.....勝山 元照 210
 総合討論.....216

《特別寄稿》

箕作麟祥『萬國新史』翻刻のご紹介.....南塚 信吾 228

《新刊紹介》

『萬國新史』と「歴史総合」の間—近代史と同時代史—.....吉嶺 茂樹 232

高大連携歴史教育研究会

The Association for High School-University Collaboration in History Education